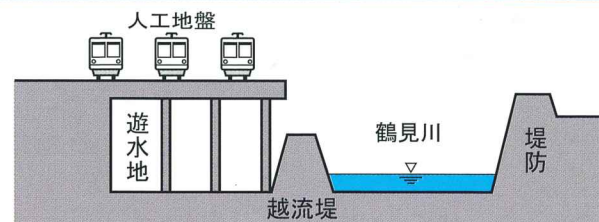


遊水地のしくみ

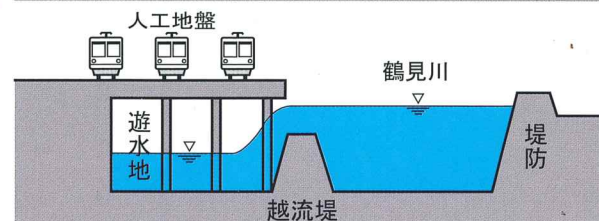
1

平常時は河道内を流れています。



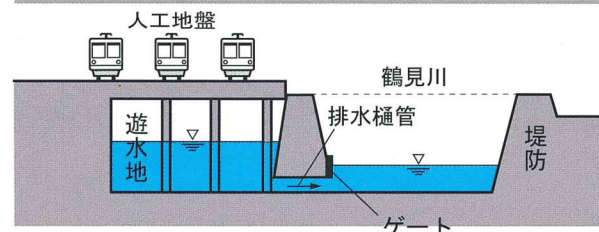
2

洪水で川の水位が高くなった時、堤防より一段低い越流堤から流水を遊水地に流し込みます。



3

河川の水位が下がった時点で、排水樋管から少しずつ川に流していきます。



お問い合わせ先
神奈川県横浜川崎治水事務所
河川第1課
〒220-0073
横浜市西区岡野2-12-20
TEL 045-411-2500
FAX 045-411-2602

(2010.6作成)



神奈川県
横浜川崎治水事務所



鶴見川 川和遊水地

洪水から人々の生活を守るために



川和遊水地

遊水地事業の概要

鶴見川流域は、人口増加や資産の集中などの急速な都市化に伴い、雨水を浸透させたり一時的に保水する機能が減少し、洪水被害の安全性の確保が難しくなっているため、平成元年に策定した「鶴見川新流域整備計画」に基づき、流域の保水対策を行うことを前提として、河道の整備と、河道沿いに新たな遊水地を県管理区間に設けることによって約60mm/hr（10年に1回規模）の降雨にも対応できる総合的な治水対策を進めてきました。

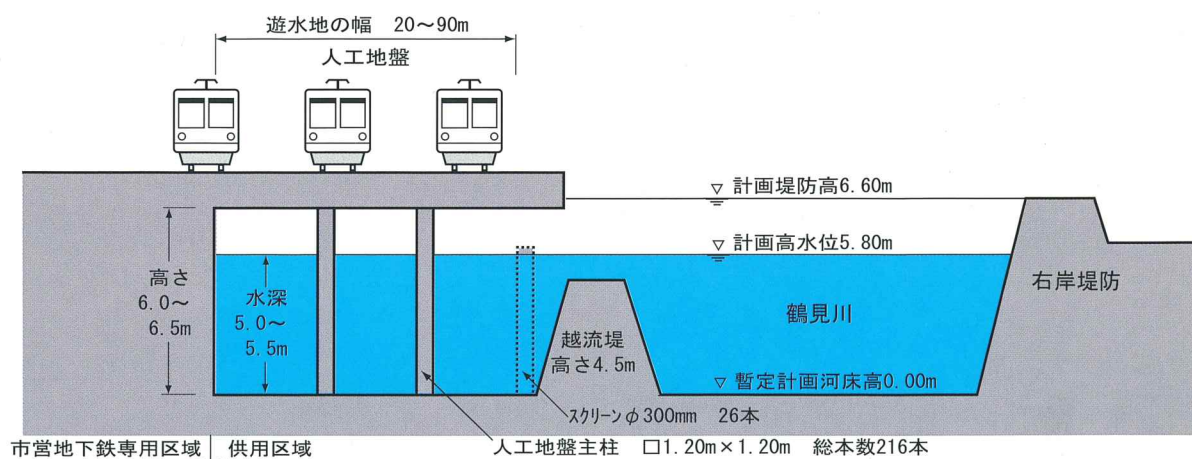
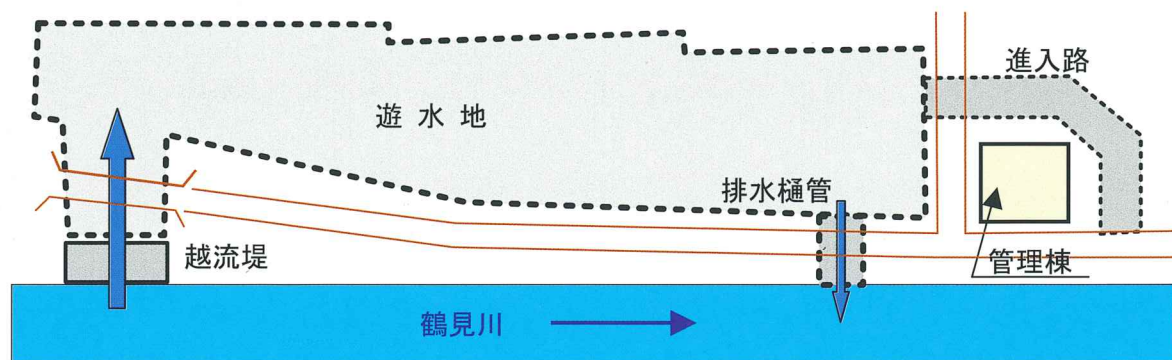
その中で、横浜市営地下鉄グリーンライン川和車両基地の地下を遊水地として利用することにより、河川環境への影響を最小限にとどめ、また、事業効果の早期実現を図ることができる川和遊水地の整備を行い、平成20年3月に完成しました。

施設規模

遊水地：貯水容量 12万 m^3 面積 2.6ha
幅 20m～90m 長さ 380m 高さ 6.0m～6.5m
越流堤：高さ 4.5m 長さ 30.0m
排水樋管：高さ 1.0m 幅 1.0m 延長 24.3m
進入路：維持管理用通路 幅 4.0m

事業期間

平成14年度～平成19年度 事業費：135億円



鶴見川流域の主な洪水調整施設



計画流量配分図

